

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 国指定文化財管理費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化伝承課 伝統文化係

電話番号：058-272-1111 (内 3569)

E-mail: [c11148@pref.gifu.lg](mailto:c11148@pref.gifu.lg)

1 事業費 3,000 千円 (前年度予算額：3,000 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
要求額	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
決定額	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

本事業によって、国指定文化財の現状の的確な把握が可能となり、また防災施設等の定期的な保守・点検によって文化財を火災や災害などから守る体制が整えられ、国指定文化財の価値を永年にわたり後世に伝えられるよう適切な維持・管理を行うことができる。

### (2) 事業内容

国指定文化財の維持管理の万全を期すために、適切な保存及び活用を図る。その事業内容は以下のとおりである。

#### 防災設備保守点検等

所有者又は管理団体が行う重要文化財の建造物等に設置した自動火災報知設備、消火設備、避雷設備等の設備及びこれらに準ずる防災関係機器の保守点検等事業

#### 差し茅・防蟻防虫・雪下ろし等小修理

所有者又は管理団体が行う重要文化財の建造物等の維持管理のための差し茅、防蟻防虫及び雪下ろし等小修理事業

#### 名勝等庭園の荒廃防止及び民家の環境整備 除草、剪定及び整姿等

所有者又は管理団体が行う名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定及び整姿等事業、又は指定文化財である民家の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等整備事業

**燻蒸・殺虫**

所有者又は管理団体が行う重要文化財の美術工芸品の保全維持のために行う燻蒸・殺虫事業

**(3) 県負担・補助率の考え方**

県は所有者または管理団体に対して、事業に要する経費の2分の1以内の額を負担する（岐阜県文化財保護費補助金交付要綱による）。

**(4) 類似事業の有無**

**3 事業費の積算内訳**

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,000	国指定文化財管理（防災保守点検・小修理）
合計	3,000	

**決定額の考え方**

**4 参考事項**

**(1) 事業主体及びその妥当性**

本補助金は、指定文化財管理費国庫補助要項、岐阜県補助金等交付規則および岐阜県文化財保護費補助金交付要綱に定めるところによる。

＜岐阜県文化財保護費補助金交付要綱＞

第1条 県は、県内に所在する文化財を保護するため、市町村その他が行う文化財保護事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付するものとし、その交付に関しては、岐阜県補助金等交付規則に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

＜消防法＞

第17条 学校、病院、工場、事業場、興行場、百貨店、旅館、飲食店、地下街、複合用途防火対象物その他の防火対象物で政令で定めるものの関係者は、政令で定める消防の用に供する設備、消防用水及び消火活動上必要な施設（以下「消防用設備等」という。）について消火、避難その他の消防の活動のために必要とされる性能を有するように、政令で定める技術上の基準に従って、設置し、及び維持しなければならない。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	国指定文化財管理費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県
補助事業の概要	（目的）岐阜県文化財保護事業費補助金交付要綱に基づき、県内の国指定文化財の防災保守点検、小修理等事業に対して補助を行う （内容）重要文化財に指定されることで負担が増加する防災設備の保守点検、維持管理のための小修理、名勝等庭園の荒廃防止等に対して補助金を交付する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）県は所有者または管理団体に対して、事業に要する経費の2分の1以内の額を負担する。 （理由）岐阜県文化財保護費補助金交付要綱による。
補助効果	重要文化財が適切に管理され、また、国宝庭園の適切な維持管理によって景観が保たれる。
終期の設定	終期 令和5年度 （理由）国指定文化財の防災のために事業を継続的に行う必要があるため。

### （事業目標）

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

国指定文化財の価値を永年にわたり後世に伝えられるよう適切な維持・管理を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①執行額	2,920千円	3,000千円	14,502千円

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	2,996千円	2,920千円	2,819千円	(予算額) 2,767千円	(要求額) 3,000千円
指標①目標	3,000千円	3,000千円	3,000千円	2,767千円	3,000千円
指標①実績	2,996千円	2,920千円	2,819千円	(推計値) 2,767千円	(推計値) 3,000千円
指標①達成率	99.9%	97.3%	96.5%	(推計値) 100%	(推計値) 100%

(前年度の成果)

重要文化財が適切に管理された。また、国宝庭園の適切な維持管理によって景観が保たれた。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項  
文化財の現状を的確に把握し、その状態に応じて適切に管理が行われるように県と市町村担当者との連絡を密にする。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）  
○：必要性が高い △：必要性が低い

(評価) 重要文化財建造物等の自動火災報知設備設置は、消防法により  
○ 義務化されているものであり、本事業は必要不可欠である。

・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  
○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている  
△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価) 防災設備の保守点検は定期的に行う必要がある。また、適切な  
○ 維持管理を行うことで、周期的に行う修理の事業費を抑制することができる。

・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  
○：効率化は図られている △：向上の余地がある

(評価) 事業内容については、ヒアリングを行い、必要最小限にすること  
○ ができた。

(事業の見直し検討)

小修理等の要望も多く、文化財を適切に保護するために、引き続き内容の精査を行う。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

**継続**・削減・統合・廃止

(理由)

防災施設等の定期的な保守・点検によって文化財を火災や災害などから守る体制を維持し、文化財を適切に保護するために、引き続き事業を継続する。